

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

5月中旬、松本信用金庫の預金口座で年金を受け取っている会員を対象にした「飛騨の小京都 高山を訪ねての親睦の旅に参加した。参加者の健康面に

配慮、内容重視の旅となった。新たな日帰り企画を、楽しい旅にしたい。随行動員

各班定員300名、5日間での日程で、延べ1500名は、受入れ地に取っても魅力

も、歓迎や街並みでの誘導で大活躍。「地域と共に」を信条にしている地域金融機関の魅力を再認識する。

昼食会場は、飲み放題企画もあり盛り上がる。私達のテーブル担当は中国籍の配膳スタッフ。日本流接待で

機敏な対応。今後ますます、外国人材の活用が求められていくのだらう。フロントの横には、台湾からのツアー団体の旅行カバンがフロアを占領。春と秋のシーズンは、特に台湾

にさせてくれる。五平餅・みたらし団子・飛騨牛串・飛騨コロッケなどの食べ歩きは、海外のお客様の観光スポットに。店舗前には長蛇の列。日本人の様に整然と並ぶ対応に、

当のプロックではない」との返事。「所有者が替わっていないのか」と尋ねると、「ほとんど変更がない」との返事。喫茶店の経営者に尋ねると、「高山の人達は、よそ者に不動

動力になっているという。旅行は、観光スポットを訪ねることも楽しみの一つだが、同行した関係者や、訪れた場所での生活する人達との会話も楽しみの一つ。

を多くの人達に知ってほしいと思った旅でもあった。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)

自分に合った旅を探しに出掛ける 楽しさについて考えてみませんか

からのお客様が多いと担当者かほほ笑む。

日本三大朝市のひとつ宮川朝市と飛騨の小京都と呼ばれる、伝統的な街並みで知られる上三之町周辺を散策。

何回か訪れたことがあるが、いつも首の情緒

日本文化を知りたいと思いが伝わってく

る。

これだけ外国人が訪れていけば、外国人経営の店舗があるのかと探すが見つげられない。配達中の郵便局スタッフが尋ねると、「担

産を売るとい文化がない。そのため、近年は、高額で貸してほしいとの要望に、景観を重視して営業する条件で貸し出すケースが出てきた」と顔を曇らす。

この地域愛の積み重ねが、今の高山観光の原

本当の事情が分かること

とも事実

だ。訪れた地域に行っ

たからこ

そ、新たな

楽しみに出

飛び交い、高山が感じられる気さくな買い物が出来た。

宮川沿いに展開する朝市、高山弁が

な買い物が出来た。

